

今月の学習会報告 ～ 7階病棟 編～

開催の経緯

2024年12月に内視鏡センター・消化器科医師と合同で、大腸内視鏡検査の前処置時に内服する腸管洗浄液（モビプレップ）の学習会を行いました。

学び

7階病棟は消化器内科と糖代謝科の混合病棟です。どちらの科でも大腸内視鏡検査は頻繁に行われています。腸管洗浄液の正しい調剤方法や飲み方、効果的な前処置の仕方などを学びました。

また、実際に自分たちで飲んでみることで1～2Lを内服する患者さんの負担を考える事が出来ました。意外と私たちが知らなかったのは、溶解用の水は直接袋に線通り入れると若干少なく作られてしまうので、事前に計測した2Lの水が必要という事でした。



抱負

早速、7階病棟の全てのトイレに大腸内視鏡検査前処置時の注意点・検査できる状態の目安がわかるポスターを掲示しました。（←左記写真参照）



まなmemo

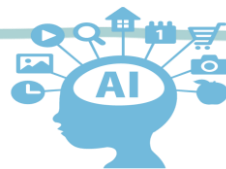
みなさん、生成AIは使ったことはありますか？
CHAT-GPT、GEMINI、Copilot、Apple Intelligence…色々ありますが、どうでしょう？

右図はCopilotに、「生成AIを病院で使うことについてのメリット」を生成AIに触れたことのない方に伝える文を作ってくださいと聞いた答えです。

これが数秒で出来てきます。電子カルテが当たり前になったように、生成AIはすぐに当たり前になると思います。準備はしておきましょう。

これまでググっていたのを生成AIに投げかけるだけで、使ったことのある人の仲間入りです。無料版がありますから、使ってみて、体感してください。

どんなところで使えそうか、みんなで探っていきませんか？



生成AIを病院で使うことについてのメリットを、生成AIに触れたことのない方に伝える文を作ってください

もちろんです。生成AIを知らない方にも分かりやすいように、以下のように説明してみたいかでしょうか：

病院での生成AIの利用によるメリット

生成AIは、医療現場での多くの課題を解決するための強力なツールです。そのメリットは以下の通りです：

1. より正確な診断: 生成AIは、医療データや画像を解析し、疾患の早期発見や誤診の防止に役立ちます。これにより、患者さんは迅速に適切な治療を受けることができます。
2. 業務の効率化: 診療記録の自動化やデータ管理を助けることで、医師や看護師の負担を軽減します。これにより、医療スタッフは患者さんに対するケアにもっと集中することができます。
3. 個別化された治療: 各患者さんのデータに基づいて、最適な治療法を提案します。これにより、より効果的な治療が可能となり、患者さんの回復が早まります。
4. 治療計画と予測: 病気の進行を予測し、最適な治療計画を立てることができます。これにより、患者さんに対して最適な治療を提供することができます。
5. 教育とトレーニング: 医療従事者の教育やトレーニングにも活用され、シミュレーションを通じて実践的なスキルを向上させることができます。

+ Copilot ハメッセージを送る